



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東
 コード番号 7448 URL <https://www.jeansmate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富澤 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐藤 信治 (TEL) 03(5738)5555
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,191	△8.5	206	△38.1	209	△39.2	169	△35.8
2019年3月期第3四半期	6,766	—	333	—	344	—	263	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	11.78		—					
2019年3月期第3四半期	18.34		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2020年3月期第3四半期	4,798		3,585		74.7
2019年3月期	4,722		3,416		72.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,585百万円 2019年3月期 3,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	3.1	175	91.5	185	76.0	85	325.6	5.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	16,101,466株	2019年3月期	16,101,466株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,728,357株	2019年3月期	1,728,281株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	14,373,167株	2019年3月期3Q	14,373,268株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日)におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しているものの、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速懸念など、先行き不透明な状況にありました。アパレルファッション業界におきましても、相次ぐ台風の上陸や暖冬などの天候不順、10月からの消費増税による節約志向の高まり等、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社は今期より継続的に注力しているMDサイクル適正化に向けた取組み(タイムリーな売価変更を行うことで在庫と粗利率をコントロール)により、売上総利益率:50.4%(前年同期差+1.7P)、期末棚卸高前年同期末対比:94.2%(前年同期差△99百万円)となりました。併せて販管費削減の取組み継続により、売上販管費比率は47.1%と前期から引き続き抑制傾向を維持出来ており、収益構造の改善が着実に現れております。

商品面におきましては、今期より注力する立地別MD(店舗タイプ毎の客層に寄り添った品揃え)強化を継続し、B.S.T(Blue Standard)等のプライベートブランド(PB)アイテムで、当社独自のヒット商品を開発することが出来ております。加えてOUTDOOR PRODUCTSで大人の男性客層を獲得すべく新たなシリーズとして「BLACK LINE」(ブラックライン)を9月にデビューさせ、OUTDOOR PRODUCTSブランド全体の価値向上に注力し、狙い通りOUTDOOR PRODUCTS業態の男性客増加にも繋げることが出来ました。

一方でインバウンドに関しては、引き続き増加傾向にある訪日外国人旅行者の需要に応えるべく、9月より免税対応店舗を全店に拡大(前年同時期差+51店舗)したものの、中国での法改正等の影響もありまとめ買いも減ったことで、免税売上は前年同期対比:94.7%(前年同期差△38百万円)と低調な推移となりました。

店舗展開におきましては、「JEANS MATE」業態を1店舗、マルチブランド型MDショップ「JEM」(ジェイ・イー・エム)業態を4店舗、「OUTDOOR PRODUCTS」業態2店舗、合計7店舗を商業施設へ出店いたしました。これらにより、当第3四半期会計期間末の総店舗数は83店舗(うち催事契約5店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,191百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益206百万円(前年同期比38.1%減)、経常利益209百万円(前年同期比39.2%減)、四半期純利益169百万円(前年同期比35.8%減)となり、減収減益ではあるものの前期から2期連続で第3四半期営業黒字化を達成しました。

今後も、立地別MDの強化・MDサイクル適正化・60周年に向けた取組み等、各種重点施策へ注力する事で通期業績予想数値の達成を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ75百万円増加し、4,798百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ25百万円減少し、3,351百万円となりました。これは主に商品が120百万円増加しましたが、現金及び預金が266百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ101百万円増加し、1,447百万円となりました。これは主に有形固定資産が72百万円増加、敷金及び保証金が26百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ93百万円減少し、1,213百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ101百万円減少し、830百万円となりました。これは主に賞与引当金が58百万円減少、未払金が42百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ7百万円増加し、382百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ169百万円増加し、3,585百万円となりました。これは主に四半期純利益を169百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後業績予想の修正が必要になった場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,352	1,208,344
売掛金	285,021	368,767
商品	1,504,664	1,624,805
その他	113,098	149,521
流動資産合計	3,377,136	3,351,439
固定資産		
有形固定資産	151,629	224,089
無形固定資産	8,285	6,860
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,180,334	1,206,584
長期未収入金	167,510	166,410
その他	5,553	9,665
貸倒引当金	△167,510	△166,410
投資その他の資産合計	1,185,888	1,216,249
固定資産合計	1,345,803	1,447,199
資産合計	4,722,940	4,798,639
負債の部		
流動負債		
買掛金	411,973	443,054
未払金	263,271	221,175
賞与引当金	76,018	17,673
その他	181,112	148,899
流動負債合計	932,375	830,802
固定負債		
資産除去債務	296,378	318,514
その他	78,152	64,013
固定負債合計	374,530	382,528
負債合計	1,306,906	1,213,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,338,387	2,338,387
資本剰余金	2,448,009	2,448,009
利益剰余金	△109,036	60,261
自己株式	△1,261,326	△1,261,350
株主資本合計	3,416,034	3,585,307
純資産合計	3,416,034	3,585,307
負債純資産合計	4,722,940	4,798,639

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	6,766,352	6,191,343
売上原価	3,473,526	3,070,177
売上総利益	3,292,826	3,121,166
販売費及び一般管理費	2,959,506	2,914,764
営業利益	333,319	206,401
営業外収益		
受取利息	5,314	43
受取賃貸料	3,875	—
その他	7,356	3,313
営業外収益合計	16,545	3,357
営業外費用		
賃貸費用	3,875	—
その他	1,457	300
営業外費用合計	5,332	300
経常利益	344,532	209,458
特別損失		
減損損失	23,180	5,140
店舗閉鎖損失	6,815	803
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,498	—
本社移転費用	8,803	—
特別損失合計	40,298	5,944
税引前四半期純利益	304,234	203,513
法人税等	40,696	34,216
法人税等合計	40,696	34,216
四半期純利益	263,538	169,297

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。